



Safe Crop Project News



No.30 2020年9月発行

「ベトナム北部地域における安全作物の信頼性向上プロジェクト（2016年～2021年）」は、北部地域2市11省において、「Basic GAP (Good Agricultural Practices)」を始めとする安全作物栽培の技術規範に沿った生産活動、消費者の安全野菜への信頼醸成、及び、多様なサプライチェーンの構築を支援することで、対象地域における安全作物栽培の振興を目指します。

2016年7月より5年間の実施期間で開始した本プロジェクトは終盤に差し掛かっています。2017年よりターゲットグループを選定し、トライアル活動を実施しているパイロット省（ハイズオン省、ハナム省、フンエン省）においては、プロジェクト目標達成に向けた活動と並行し、各省の主導でプロジェクト成果を普及拡大する活動が開始されています。今号では、パイロット省のハイズオン省 PPMU (Provincial Project Management Unit) に、これまでのプロジェクト成果の振り返りと共に、ハイズオン省における普及拡大計画について報告いただきます。

ハイズオン省におけるプロジェクト活動

プロジェクトのパイロット省として、2017年4月に Duc Chinh 組合、Tan Minh Duc 組合、Thanh Ha 社が選定され、トライアル活動を開始しました。この3つのターゲットグループにおける活動成果が評価され、2018年9月には、新たに Lua 安全野菜生産グループ、CP-Greenfarm 社、Gia Gia 社がターゲットグループとして選定され、活動を展開してきました。プロジェクト活動は、対象グループの生産とマーケティングに係る意識と行動の変化に繋がっています。以下に対象グループが活動を通じて得た学びと変化を報告させていただきます。



Gia Gia 社における不織布を用いた葉菜の生産

生産における学びと変化

生産計画：

グループの生産能力、及び、市場の需要と前シーズンに得た情報に基づいて生産計画を立てることができるようになった。

生産管理：

グループ生産を行うことで、投入費用の削減と管理を容易に行うことができるようになり、生産効率を改善することができた。また、グループ生産はより多くの販売機会を得ることに繋がった。

記帳：

習慣化した記帳は、生産工程を示す記録となることに加え、翌シーズンの生産に学びを与える参考にもなっている。

品質への責任：

記帳による自己申告に加え、グループ内での残留農薬クイックテストや第3者機関による残留農薬検査を実施することは、各農家の品質に対する責任感の醸成に繋がった。

内部監査の目的の理解：

共同で投入材の品質、生産条件と生産工程を確認する機会を持つことは、正しい記帳を始めとするメンバー農家の安全野菜生産の改善に繋がるという理解が育まれた。

行動変化：

生産野菜の安全性を確保し、顧客の維持を始めとするメンバー農家の相互の利益を得るために、情報が共有されるようになった。

マーケティングにおける学びと変化

市場の需要に基づく生産：

生産して売るのではなく、バイヤーを開拓し、市場の需要に基づき生産を行うよう意識が変化した。

販促ツールの開発：

生産者プロフィール、各種ツール（ロゴ、名刺、リーフレット等）を活用して販促を行う意識が醸成された。

バイヤーとの関係構築スキルの改善：

共同販売において、バイヤーと緊密に連携し、相互にフィードバックを行うことで、持続的な関係を築くスキルを身に着けた。



Thanh Ha 社における前処理、パッキング工程

生産とマーケティングにおけるこれらの学びは、安全作物生産は難しいことでも、高額な投資が必要なことでもなく、重要なポイントは、生産者の意識と行動を変化させることであるという気づきを与えました。

一方、特に 2018 年 9 月に新たに選定されたターゲットグループにおいては、2017 年 4 月に選定されたターゲットグループと比較して経験が不足しており、管理体制の強化、記帳習慣の徹底等、引き続き取り組んでいく必要がある課題があります。また、安全野菜生産者間の競争が日々激しくなっており、生産者は販売価格を下げるプレッシャーに晒されていること、特に遠方の市場向けには輸送コストが高むこと等、共通の課題もあります。

今後の普及拡大計画

4 年間のプロジェクト活動実施を通じ、省から郡レベルまで政府職員の生産指導能力と管理能力が強化されました。また、対象グループにおける生産とマーケティング能力が向上し、スーパーマーケットを始めとする市場開拓が進みました。プロジェクト対象サイトにおける成功事例は、ハイズオン省内の各生産農家、生産グループが野菜の生産性、品質と付加価値を向上するために、学ぶことができるモデルとして位置づけられます。ハイズオン省では普及拡大モデルとして、2020 年は Nam Vu クリーン農業組合を対象グループに選定しました。Nam Vu クリーン農業組合は、Thanh Ha 郡 Lien Mac コミューンに位置し、20 名のメンバ

ーが 5ha において、野菜生産を行っています。今後、2020 年～2022 年に掛けて、ハイズオン省では毎年 1～2 か所のターゲットグループを選定して、プロジェクトの成功モデルの普及拡大を行っていく方針です。



安全野菜生産について学ぶため、ハイズオン省内各政府機関の女性幹部が Duc Chinh 組合を訪問

Covid-19 の影響下における生産とマーケティング

これまで、新型コロナウイルス感染拡大の第1波に伴うプロジェクト対象グループや安全野菜市場全体への影響について報告してきました。ベトナムにおいては引き続き感染拡大防止策が効果的に図られることが期待されますが、生産現場では万が一感染が拡大した場合のリスクも想定しながら冬作の準備が進められています。今号ではフンエン省 Yen Phu 組合の Nguyen Huu Hung 代表に取組みについて報告いただきます。

第1波の影響

Yen Phu 組合は VietGAP に沿った生産を行い、ハノイ市内のスーパーマーケットや社員食堂、Yen My 郡の幼稚園食堂等に安全野菜を出荷しています。新型コロナウイルスの第1波の際、特に社会的隔離措置が実施された期間は、社員食堂、幼稚園食堂向けの販売や、またホテルやレストランに出荷されているハーブ類の販売ができませんでした。継続販売できた顧客に対しては相対的に高い価格で販売することができましたが、全体の販売量が 40%程減少したことは、組合の売上に大きく影響しました。Yen Phu 組合では余剰野菜を減らすため、栽培面積、特にハーブ類の栽培を減らす対応を取りました。並行して、小規模の安全食品店等の新規顧客開拓、Zalo や Facebook 等の SNS を通じた消費者への販売促進も行いました。一方、販売が継続できている顧客に配送する際には、防護服、マスクや長靴の着用、検温、手の消毒等の感染防止策を図りました。

今期冬作対応

新型コロナウイルスの状況は複雑であり、今年の冬に状況が改善する兆候は現時点ではありません。第1波の経験に基づき、今期冬作はハーブ類の栽培面積を減らし、相対的に長く保管できる果菜や根菜の栽培を増やす計画です。マーケティングにおいては、既存顧客への継続販売と並行して、余剰野菜が出ないよう、引き続き新規顧客開拓を行っていく方針です。Yen Phu 組合では、仮に再度社会的隔離措置が取られた場合であっても、感染防止策を厳格に図りながら、消費者にとって必要不可欠な野菜を顧客の需要に合わせて供給できる体制を整えていきます。



トマト苗の成長具合を確認する Hung 代表

皆様のご意見・ご感想をお待ちしております

JICA プロジェクト事務所

Room 201, Department of Crop Production, Ministry of Agriculture and Rural Development,
2 Ngoc Ha Str., Ba Dinh Dist., Hanoi, Vietnam
Tel/Fax : +84 24 3244 4373, Email: safecropproject@gmail.com